





# 家族の世話「相談せず」半数超

## 今年度ヤングケアラー調査

交通遺児育英会は、今年度実施した「ヤングケアラー調査」の結果をまとめ、概要を公表した。集計によると、回答者のうち「お世話をしている家族がいる」と答えた奨学生は43人（高校生18人、大学・短大以上25人）。

「現在はいないが過去はいた」とした15人（同2人、同13人）を加えると、12・4％（計58人）が日常的に家族の世話を担うヤングケアラーに該当するとみられ、単純に比較はできないものの、過去は同種調査の数値より高い傾向がうかがえる。

ケアの対象を見ると、父親・母親が76％を占め、祖母（21％）、きょうだい（10％）と続いた。世話を必要とする家族の状況は、父親の77％、母親で61％が「身体障がい」が挙げられた。ケアの内容は、①家事（食事の準備・掃除、洗濯など）が44・8％で最多。以下、②散

歩や買い物など外出時の付き添い③（転倒などに備える）見守り④入浴・トイレ、食事などの介助⑤話し相手になるなど感情面のサポート——が続いた（いずれも複数回答）。

「充実感ある」一方で「精神的きつさ」もまた、お世話をする頻度を尋ねたところ、高校生の半数、大学・短大以上で4割超が「ほぼ毎日」と答えている。家族の世話に充てている時間は「1日3時間未満」が最も多く、全体の7割を占めた。一方で、1日3時間以上を費やす学生も19％いることが判明。友人との時間やアルバイトなどに充てる時間が取れない、とする回答もあった。

家族のケアで感じることについて問うと、高校生の半数近くと、大学・短大以上の6割が「特に何も感じていない」として

た。「家族の役に立っている充実感」も高校生の4人に1人が感じていた。一方で「精神的にきつさ」との回答も高校生の1割、大学・短大以上で2割強に上った。「時間的な余裕がない」との声も高校生で1割、大学・短大以上で2割近くあった。

自身の状態や置かれた状況に関する相談経験の有無を聞くと、高校生、大学・短大以上ともに約4割が「ある」と回答。相談相手は、家族（父・母、祖父母、きょうだい）が7割超、親せき（おじ・おばなど）、友人、学校の先生などが挙げられた。

「相談しても状況が変わる」とは思えない」高校生の半数、大学・短大以上の6割超は相談経験が「ない」としており、その理由（複数回答）を尋ねると、「相談するほどではない」が最も多

く、全体の約7割を占めた。「家族以外に相談するような悩みではない」が全体の2割あり、高校生では「家族のことは話にくい」「状況をわかっ

てももらえないと思う」がそれぞれ2割、大学・短大以上では「相談しても状況が変わる」とは思えない」が2割近くあった。

これまでの調査結果を踏まえ、当会は当事者世帯と面談を行ったうえで、適切な支援を提供できるような支援制度を整えていく方針。

石橋健一会長は「交通遺児世帯では、ヤングケアラーは珍しくないのでは、と感じていた。アンケート結果を見ると、家族の世話に追われる奨学生は決して少なくないように思う。面談を通じて必要な支援につなげていきたい」と話す。

【奨学生の声】奨学生はヤングケアラーについてどのように考

えているのか、自由記述欄に寄せられた主な声を紹介します。

・自分はヤングケアラーではないが人によってお世話をすることへの思いが違ふと思う。個々の考えを尊重して支援することが必要だと感じる。

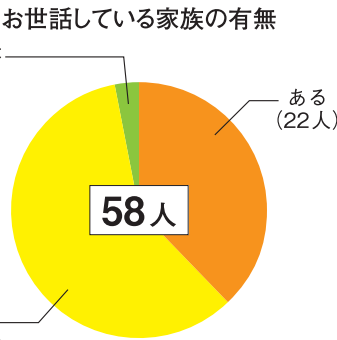
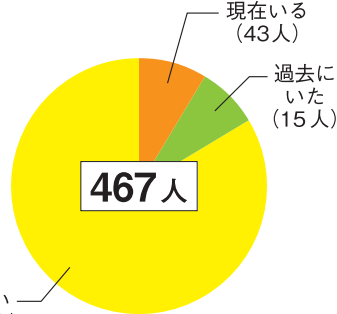
・ヤングケアラーは自分の状況が特別だと気付いていないことが多いため、安心して話ができる場所や相談窓口が必要。子どもが担わなくていいケアを分担してくれる仕組みがあれば、と思う。

・幼少期から心身をすり減らしていると、一番大事にすべき自分自身を見失ってしまったため、そのケアも必要になる。

・支援は子ども本人だけでなく、家族全体に向けて、家族全体に向けることが重要だと思う。家事代行など、子どもが代わりにやらざるを得ない状況を減らすことが根本的な支援になると思う。

・経済的支援として生活支援金の給付や、生活必需品の提供などがあるとうい。

・悩みを抱える人が年々増えているのか、自由記述欄に寄せられた主な声を紹介します。



◆交通遺児育英会「ヤングケアラー調査」  
当会の全奨学生743人（調査時点）を対象に、2025年6～7月に実施。467人が回答した（回答率62・9％）。回答者は大学・短大以上297人（高専4・5年生、大学院、専門学校を含む）、高校生167人（高専1～3年生、専修学校高等課程、中等教育学校を含む）、その他・無回答3人。平均年齢は19歳。回答方式はインターネット、書類記入の両方を併用した。調査は24年（回答率44・1％）に続いて2回目。

## まさか！の事態に備える手引書 ～警視庁犯罪被害者支援室が作成

交通事故被害に遭った時の刑事司法手続きや捜査の流れ、保険・損害賠償制度、都内の相談窓口など支援制度に関する概要をまとめた小冊子「交通事故にあわれた方へ」を、警視庁犯罪被害者支援室が作成している（表紙写真）。突然の事態に直面した被害者の不安や動揺を和らげる目的。交通事故以外の犯罪被害を対象とした「被害にあわれた方へ」もある。いずれも警視庁ホームページのトップから「相談・お悩み」→「犯罪被害者支援」→「被害にあわれた方へ」の「被害者の手引」からダウンロードできる。



成安造形大学4年  
海野 音芽



冬の屋上

年齢、地域、環境を問わず、この摩擦で生じる家族全員のストレスなど、自分集い、直接語らう場所があると、自分ひとりではな、と孤独を感じなく

「語らいカフェ」の今年度日程を終了

自分自身が加害者にならないよう、被害者家族を増やさないように今まで以上に運転に注意したい。

（被害者の方には）語り尽くせないほどの悲しみや後悔があると感じました。ニュースを見て分かった気になった、一つ一つの事故に多くの思いや苦勞が詰まっている、と感じました。

車に携わる会社の社員として、一人の人間として「安全・安心」を常に忘れないようにしたい。

一日無事であったことを心より感謝して生きてまいります。

（交通遺児育英会のような）支援があることを知らなかったため、夢

交通事故によって悲しんでいる人に優しく手を差し伸べる人でありたい。既にづらい思いをしている方に追い打ちをかけるような人間にはなりたくない、と強く思いました。

交通安全の授業は警察官のお話を聴くことが主だったので、今回の講義はとても貴重でした。この先、ハンドルを握る可能性は誰にでもあるので、命を乗せている意識を持つことが大切だと思いました。

（被害者の方が）「加害者じゃなくてよかった」と言われていたのを意外に感じました。（岩手県立釜石高校定期制の皆さんのアンケートより）

正直、聞いているのが苦しかった。

（被害者の方が）「加害者じゃなくてよかった」と言われていたのを意外に感じました。（岩手県立釜石高校定期制の皆さんのアンケートより）

自分自身の子どもや家族はもちろんのこと、全ての人に「大切な存在」がいることを心に留めておきたいと思えます。（東洋カーマックス株式会社様のアンケートより）

「当たり前」がいつ覆るか、誰にも分からないということを胸に刻んで、後悔しない日々を送っていたいです。

ただ大きくて残酷なものなのか、一つ一つの言葉に詰まっていたように思います。

「当たり前」がいつ覆るか、誰にも分からないということを胸に刻んで、後悔しない日々を送っていたいです。

自分自身の子どもや家族はもちろんのこと、全ての人に「大切な存在」がいることを心に留めておきたいと思えます。（東洋カーマックス株式会社様のアンケートより）

「あしながおじさん」の活動が広がるよう、これからも応援します。

普段の生活で、大事には至らずとも「ヒヤリ」「ドキッ」とした経験は誰にもあると思う。人ごとではすませられない、と実感した。

助け合いの精神を持って日々の運転を心がけたいと思います。

自分自身が事故を起こさない、という強い気持ちで日々を過ごすことを、改めて自分自身に約束します。

を、改めて自分自身に約束します。

自分自身が事故を起こさない、という強い気持ちで日々を過ごすことを、改めて自分自身に約束します。

自分自身が事故を起こさない、という強い気持ちで日々を過ごすことを、改めて自分自身に約束します。

自分自身が事故を起こさない、という強い気持ちで日々を過ごすことを、改めて自分自身に約束します。

自分自身が事故を起こさない、という強い気持ちで日々を過ごすことを、改めて自分自身に約束します。

自分自身が事故を起こさない、という強い気持ちで日々を過ごすことを、改めて自分自身に約束します。

自分自身が事故を起こさない、という強い気持ちで日々を過ごすことを、改めて自分自身に約束します。

自分自身が事故を起こさない、という強い気持ちで日々を過ごすことを、改めて自分自身に約束します。

自分自身が事故を起こさない、という強い気持ちで日々を過ごすことを、改めて自分自身に約束します。

自分自身が事故を起こさない、という強い気持ちで日々を過ごすことを、改めて自分自身に約束します。

自分自身が事故を起こさない、という強い気持ちで日々を過ごすことを、改めて自分自身に約束します。

自分自身が事故を起こさない、という強い気持ちで日々を過ごすことを、改めて自分自身に約束します。

自分自身が事故を起こさない、という強い気持ちで日々を過ごすことを、改めて自分自身に約束します。

自分自身が事故を起こさない、という強い気持ちで日々を過ごすことを、改めて自分自身に約束します。

自分自身が事故を起こさない、という強い気持ちで日々を過ごすことを、改めて自分自身に約束します。

自分自身が事故を起こさない、という強い気持ちで日々を過ごすことを、改めて自分自身に約束します。

自分自身が事故を起こさない、という強い気持ちで日々を過ごすことを、改めて自分自身に約束します。

自分自身が事故を起こさない、という強い気持ちで日々を過ごすことを、改めて自分自身に約束します。

自分自身が事故を起こさない、という強い気持ちで日々を過ごすことを、改めて自分自身に約束します。

自分自身が事故を起こさない、という強い気持ちで日々を過ごすことを、改めて自分自身に約束します。

自分自身が事故を起こさない、という強い気持ちで日々を過ごすことを、改めて自分自身に約束します。

自分自身が事故を起こさない、という強い気持ちで日々を過ごすことを、改めて自分自身に約束します。



# 2025 海外語学研修報告

【後編】



金兎ゆず  
いちばん成長したな、と感じるのは物怖じしない心です。  
当初は文法や発音に自信がなくて、伝えたいことを伝えられずにいました。けれど、ホストファミリーは私が言いたいことを理解しようと歩み寄ってくれました。それがすごく心強くて、完璧じゃなくても伝えようとすめる気持ちが大事なんだ、と気が付きました。  
私は将来、英語の先生になるために研修に参加しました。この物怖じしない心を子どもたちに教えてあげたいです。  
また、かけがえのない仲間に出会い、一生忘れられない思い出を作ることができました。研修中は楽しいだけでなく、戸惑うことや困ることも多くありました。でも、この仲間がいてくれたからどんな時も笑って過ごすことができたのだと思います。日本未公開の映画を見たり、初めて海で泳いだり、大きなショッピングモールを見て回ったり。一番の思い出が決められないくらい、毎秒毎秒が私の大切な宝物になっています。  
今回の研修で英会話力を伸ばすという目標を達成できたと同時に、語彙を増やし、気持ちをスムーズに伝えられるようになりたいという新たな目標もできました。さらに、アメリカの文化に触れて視野が広がり、異文化への理解も深まりました。人として何倍も何十倍も成長できたと思います。

石井 優衣

語学研修はとても大きな挑戦でした。出発前は自分の英語力に対する不安が大きかったです。しかし、研修中は意思疎通の大きな変革を実感しました。ホストファミリー宅には幼い子どもがおり、言葉以上に表情やジェスチャーでのやり取りが重要でした。語学力を鍛えるだけでなく、伝えるための工夫が大切だと学びました。また、日本との文化や生活の違いを強く感じました。食事前のお祈りやお風呂の様式、地域の人の交流の仕方など習慣が大きく異なっていました。さまざまな価値観に触れる視野が広がることはとても新鮮でした。

竹前 燈吹

研修は将来をより明確にするきっかけになりました。私の高校では、大学進学にあたって国内か海外を選ぶコース選択があります。今回の研修で海外進学について現実的に考えるようになり、国際的な場で活躍することやグローバルなコミュニケーションができる人材になりたいという思いが強まりました。

か海外を選ぶコース選択があります。今回の研修で海外進学について現実的に考えるようになり、国際的な場で活躍することやグローバルなコミュニケーションができる人材になりたいという思いが強まりました。研修中は意思疎通の大きな変革を実感しました。ホストファミリー宅には幼い子どもがおり、言葉以上に表情やジェスチャーでのやり取りが重要でした。語学力を鍛えるだけでなく、伝えるための工夫が大切だと学びました。また、日本との文化や生活の違いを強く感じました。食事前のお祈りやお風呂の様式、地域の人の交流の仕方など習慣が大きく異なっていました。さまざまな価値観に触れる視野が広がることはとても新鮮でした。



ケットボールのコートがあり、子どもたちが遊んでいてとても驚きました。同年代の子どもたちも30人くらいいて、その日はスケアリーナイトということで、ハンターに見つかからないように夜の教会を走って呼びまくりました。アメリカは宗教との向き合い方が自由なところが興味深かったです。二つ目は、自分の意見をしっかりと伝えるからこそ、相手の意見もしっかりと聞いてくれるということです。アメリカ人は自分の意見を堂々と伝える印象があり、私は英語でちゃんと自分の意見を伝えられるか不安でした。しかし、言葉に詰まった時でも私が言い切るまで耳を傾けてくれました。そのおかげで、私も自信を持って話せるようになった。この経験から、アメリカ人は自分の意見をしっかりとと言うからこそ、勇気を出して考えを伝えようとする相手のことも寛大な心で受け入れていたのだと感じました。これからは自分の意見を言うだけでなく、相手の意見も最後まで真剣に聞きたいです。これが自分や相手のことを知り、受け入れることだと思えます。将来は海外の人とコミュニケーションをとりたいので、この留学で自分の夢を明確にできました。

## 仲間とともに楽しむひととき

～心塾で恒例行事開催 芸術鑑賞、キャンプ、餅つき～



(新潮文庫 693円)

もう読んだ？

そのうち、清太の行動が

直木賞を受賞。その後、高

畑監督による同名アニメ

映画が何度もTV放映され

ている。

そのうち、清太の行動が

直木賞を受賞。その後、高

畑監督による同名アニメ

映画が何度もTV放映され

ている。

そのうち、清太の行動が

直木賞を受賞。その後、高

畑監督による同名アニメ

映画が何度もTV放映され

ている。

そのうち、清太の行動が

直木賞を受賞。その後、高

畑監督による同名アニメ

映画が何度もTV放映され

ている。

そのうち、清太の行動が

直木賞を受賞。その後、高

畑監督による同名アニメ

映画が何度もTV放映され

ている。

そのうち、清太の行動が

直木賞を受賞。その後、高

畑監督による同名アニメ

映画が何度もTV放映され

ている。

そのうち、清太の行動が

直木賞を受賞。その後、高

畑監督による同名アニメ

映画が何度もTV放映され

ている。

そのうち、清太の行動が

直木賞を受賞。その後、高

畑監督による同名アニメ

映画が何度もTV放映され

ている。

そのうち、清太の行動が

直木賞を受賞。その後、高

畑監督による同名アニメ

映画が何度もTV放映され

ている。

### アメリカひじき・火垂るの墓

野坂 昭如 著

井谷 昌喜 心塾東京寮読書感想文講師

「被害者支援、さらなる充実を」  
警察庁シンポジウム  
警察庁が主催する今年度の交通事故被害者支援のシンポジウムが、12月2日、岩手県盛岡市で開かれた。児童精神科医の山家健太郎氏が、心身の被害を受けた子どもを支援する役割を説いた。また、「いわて犯罪被害者支援の会」代表の大崎礼子さんは、心の休まる居場所として「自助グループ」は途切れない支援の構成要素の一つと、援助制度の充実を求めた。

「被害者支援、さらなる充実を」  
警察庁が主催する今年度の交通事故被害者支援のシンポジウムが、12月2日、岩手県盛岡市で開かれた。児童精神科医の山家健太郎氏が、心身の被害を受けた子どもを支援する役割を説いた。また、「いわて犯罪被害者支援の会」代表の大崎礼子さんは、心の休まる居場所として「自助グループ」は途切れない支援の構成要素の一つと、援助制度の充実を求めた。

「被害者支援、さらなる充実を」  
警察庁が主催する今年度の交通事故被害者支援のシンポジウムが、12月2日、岩手県盛岡市で開かれた。児童精神科医の山家健太郎氏が、心身の被害を受けた子どもを支援する役割を説いた。また、「いわて犯罪被害者支援の会」代表の大崎礼子さんは、心の休まる居場所として「自助グループ」は途切れない支援の構成要素の一つと、援助制度の充実を求めた。

「被害者支援、さらなる充実を」  
警察庁が主催する今年度の交通事故被害者支援のシンポジウムが、12月2日、岩手県盛岡市で開かれた。児童精神科医の山家健太郎氏が、心身の被害を受けた子どもを支援する役割を説いた。また、「いわて犯罪被害者支援の会」代表の大崎礼子さんは、心の休まる居場所として「自助グループ」は途切れない支援の構成要素の一つと、援助制度の充実を求めた。

「被害者支援、さらなる充実を」  
警察庁が主催する今年度の交通事故被害者支援のシンポジウムが、12月2日、岩手県盛岡市で開かれた。児童精神科医の山家健太郎氏が、心身の被害を受けた子どもを支援する役割を説いた。また、「いわて犯罪被害者支援の会」代表の大崎礼子さんは、心の休まる居場所として「自助グループ」は途切れない支援の構成要素の一つと、援助制度の充実を求めた。

「被害者支援、さらなる充実を」  
警察庁が主催する今年度の交通事故被害者支援のシンポジウムが、12月2日、岩手県盛岡市で開かれた。児童精神科医の山家健太郎氏が、心身の被害を受けた子どもを支援する役割を説いた。また、「いわて犯罪被害者支援の会」代表の大崎礼子さんは、心の休まる居場所として「自助グループ」は途切れない支援の構成要素の一つと、援助制度の充実を求めた。

「被害者支援、さらなる充実を」  
警察庁が主催する今年度の交通事故被害者支援のシンポジウムが、12月2日、岩手県盛岡市で開かれた。児童精神科医の山家健太郎氏が、心身の被害を受けた子どもを支援する役割を説いた。また、「いわて犯罪被害者支援の会」代表の大崎礼子さんは、心の休まる居場所として「自助グループ」は途切れない支援の構成要素の一つと、援助制度の充実を求めた。

「被害者支援、さらなる充実を」  
警察庁が主催する今年度の交通事故被害者支援のシンポジウムが、12月2日、岩手県盛岡市で開かれた。児童精神科医の山家健太郎氏が、心身の被害を受けた子どもを支援する役割を説いた。また、「いわて犯罪被害者支援の会」代表の大崎礼子さんは、心の休まる居場所として「自助グループ」は途切れない支援の構成要素の一つと、援助制度の充実を求めた。

「被害者支援、さらなる充実を」  
警察庁が主催する今年度の交通事故被害者支援のシンポジウムが、12月2日、岩手県盛岡市で開かれた。児童精神科医の山家健太郎氏が、心身の被害を受けた子どもを支援する役割を説いた。また、「いわて犯罪被害者支援の会」代表の大崎礼子さんは、心の休まる居場所として「自助グループ」は途切れない支援の構成要素の一つと、援助制度の充実を求めた。

「被害者支援、さらなる充実を」  
警察庁が主催する今年度の交通事故被害者支援のシンポジウムが、12月2日、岩手県盛岡市で開かれた。児童精神科医の山家健太郎氏が、心身の被害を受けた子どもを支援する役割を説いた。また、「いわて犯罪被害者支援の会」代表の大崎礼子さんは、心の休まる居場所として「自助グループ」は途切れない支援の構成要素の一つと、援助制度の充実を求めた。

## 危うい「自業自得論」の台頭

「被害者支援、さらなる充実を」  
警察庁が主催する今年度の交通事故被害者支援のシンポジウムが、12月2日、岩手県盛岡市で開かれた。児童精神科医の山家健太郎氏が、心身の被害を受けた子どもを支援する役割を説いた。また、「いわて犯罪被害者支援の会」代表の大崎礼子さんは、心の休まる居場所として「自助グループ」は途切れない支援の構成要素の一つと、援助制度の充実を求めた。

昭和20年6月5日、神戸はB29による大空襲で焦土に。『火垂るの墓』の主人公・清太（14歳）と妹の節子（4歳）は空襲で母を失い、父は戦地へ行ったまま、2人は叔母の家に身を寄せるが、食べ物や物の差別を受け、屈辱的な言動に耐えられず、近くの防空壕跡に居を移す。やがて貯金も底を尽き、食料の確保は困難を極める。清太は農家を回って母の遺品の着物類と物々交換し、それも尽きると盗みで飢えをしのごうとするが、節子は栄養失調で落命。清太は駅構内で物乞いをして命をつなぐが、やはり栄養失調で亡くなる。

本作品は昭和42年下期に直木賞を受賞。その後、高畑監督による同名アニメ映画が何度もTV放映されている。そのうち、清太の行動が直木賞を受賞。その後、高畑監督による同名アニメ映画が何度もTV放映されている。

そのうち、清太の行動が直木賞を受賞。その後、高畑監督による同名アニメ映画が何度もTV放映されている。

そのうち、清太の行動が直木賞を受賞。その後、高畑監督による同名アニメ映画が何度もTV放映されている。

そのうち、清太の行動が直木賞を受賞。その後、高畑監督による同名アニメ映画が何度もTV放映されている。

そのうち、清太の行動が直木賞を受賞。その後、高畑監督による同名アニメ映画が何度もTV放映されている。



# オンステージ



BTV株式会社 (宮崎県都城市)

三島 貴文 さん

いろんな現場取材して、こんな映像を撮りたい、と欲が出てきましたね。仕事のやりがいを感じられるようになりました」

宮崎県都城市に拠点を置くケーブルテレビ会社に勤務する三島貴文さん(28)。地元密着のメディアとして宮崎・鹿児島両県にまたがる地域をカバーする。総務や営業など各部署での研修を終え、入社3年目の今は制作部のスタッフとしてカメラを担ぎ、取材に走る。

「ネタ探しから取材、撮影、動画編集まで、ナレーション以外は一人でこなしています。分業化された大手の放送局にはない、そこにむしろ惹かれます」

故郷・宮崎を離れて福岡県の大学に進学。就職活動の時期を迎え、漠然と「営業職かな」と考えていた頃、地元民放の会社説明会に出席した際、業務体験として

ニース原稿の制作を指示された。普段、ニース番組は見えていたはずだが、原稿は書けないまま終わった。「後でニース担当の方から、報道する狙いや視聴者にこんなことを考えてほしい、などの説明がありました。話を聞くうちに、これまでの自分は単にニース番組を「見てる」だけだったと気付かされました」

ニースの作り手の思いに接したことで、「自分の思いを映像で発信できるのはすごい仕事だ」と俄然興味がわき、希望業種をマスコミに絞った。当初は学生時代を過ごした福岡で就職を考えたが、8年前、交通事故で後遺症が残った母(54)のことも気にかかり、Uターンを決めた。

制作部配属が決まった2年目、新人恒例として命じられた鯉のぼりの取材。霧島連山を背景に川沿い15

## 経験積み重ねて「一番のカメラマンに」

言われる実力を身に付けて、いつか自分が手がける番組を持ちたい」。だが、そこに至る近道はない。「この先も現場に出て経験を積んでいくしかないですね」

マ スコミ志望の後輩に贈りたい言葉は「忍耐力」。専門的な業務が多く、「一から覚えなさい」といえないことばかりなので、自分も入社するまでカメラなど触ったこともなかった。他と違う独自の発想ができるセンスの持ち主なら、さらにいいと思います」。一方で、この仕事ならではの醍醐味も味わった。

「25年の世界陸上選手権直前、宮崎で合宿中のサニブラウン選手にインタビュできました。『アスリートが競技に集中できる環境が整っている』と、地元をほめてくれて嬉しかった」

著名人に限らず、「自分の生活圏外の、世代性別を超えたいろんな人に会えるのもこの仕事の魅力」という。今も印象に残るのは、ウェイトリフティングの全国大会を制覇した女子中学生。「軟式野球と『二刀流』の選手で将来が楽しみ。この春、高校ではどちらの競技を選ぶのか、本人にとって重大な岐路のはずなんです。取材中も笑顔が絶えず、楽しそうに屈託がない。少し羨ましくなりました」

人事異動は会社員の宿命ながら、できれば「制作で働きたい」と思う。

「相手に『取材してもらってよかった』と思ってもらえるような、宮崎で一番のカメラマンを目指します」

## お母さんの背中

西の方ですか？」

夏夏の海外語学研修説明会で高校3年の長男(18)と上京した際、エレベーターで乗り合わせた他のお母さんに聞かれた。「なぜ？」と思ったが、相手は「分かります」ときっぱり。「よう考えたら、ヒョウ柄の服、着ました」

話好きで明るい笑顔が印象的な山本博美さん(52)。生まれ育った八尾市への「地元愛」は強い。同じマンションに住む長男の幼馴染みの家族とは国内外に旅行に出かける仲。またある時は、隣室で骨折して動けなくなっていた独居女性の救出劇にも一役買った。

「地元には顔見知りが多く、困ったことがあれば助け合う。あたたかい人ばかりで住みやすいんです。息子にも挨拶や声かけは必ずするよう教えました」

地元企業で事務職として働き、10年になる。それまでの勤め先では商品の受注から発注までを一人できいていたが、長男の小学校入学を機に転職した。

「息子を見送ってから出社して、下校する前に退社できる条件を認めてもらえて。助かります」

長男が小学3年の時、夫(享年42)は突然、帰らぬ人となった。日曜の夜、車で帰宅途中に、信号を無視して交差点に突っ込んできたオートバイと衝突。病院に駆け付けると、既に亡く

## 「衝撃と不安」乗り越えて



山本 博美 さん

会社員 (大阪府八尾市)

やまもと ひろみ

なった後だった。遺体の確認を求められ、顔を覆う布が外されると、「顔がひどく腫れあがっていて。悲しさよりも衝撃の方が大きかった。私の側にいた息子も(顔を)見てしまって……情緒不安定になった時期がありました。もう少し子どもへの配慮がほしかった」。

事故の衝撃はしばらく収まらず、「こんなふうに入って急になくなるのか、この先どうしたらいいのか」という思いばかり浮かんで。息子の手前、取り乱すこともできず、心をどのように入保してほしいのか、わからなくなったりしました」。

父親不在の環境で、自分ほどこまで父親の役割を果たせるのか、男同士でなければ話せないこともあるの

叔 母の影響で、小学生の頃から筋金入りの宝塚歌劇ファン。いわゆる「推しメン」はおらず、「大劇場の空気、雰囲気とラインダンスが好き。日常にはあり得ないシチュエーションがいい」。もう一つ、宝塚同様にハマっているのがホラー映画。「寝る前に部屋を暗くして見る。鳥肌が立つ感覚がたまらない」

一緒に宝塚を観劇し、ホラー映画にも付き合ってくれる長男は海外語学研修に

続き、高校奨学生と保護者のつどいにも共に参加した。「研修で自分に自信がつき、ついで仲間との団結力を感じたようです。近場での仲間作りのきっかけとして、高校卒業後も奨学生版の『語らいカフェ』があればいいの」と目を細める。

その長男は大学の推薦合格を決め、この春から臨床工学技士への道を歩む。国家資格ながら、交通遺児育英会が導入する各種資格の費用補助対象には含まれていなかったため、「問い合わせると、すぐに対象に加えてもらえました。対応の早さに驚いた」と話す。

大学入学後も自宅通学の予定だが、母としては「息子も18歳になって成人したので、母親と出かけてくれる前になんか遊んでおきたい」とか。とりあえず、音楽の趣味は違ってもなぜか二人とも好きというAldoのライブに出かけることにしている。



## 特別対談

## ～ハンドルの重みは命の重み～

## 「自分は大丈夫」思い込み捨てて



(公財)交通遺児育英会

石橋 健一 会長

いしばし・けんいち 1942年生。北海道大卒業後、日新製鋼（現日本製鉄）を経て96年、交通遺児育英会。事務局長、専務理事、理事長を歴任。2023年6月から現職。



俳優、タレント

風見 しんご さん

かざみ・しんご 1962年、広島県生まれ。82年、TBS系「欽ちゃんの週刊欽曜日」でデビュー。以降、ドラマ、映画、舞台などに多数出演。2023年、語学留学のため渡米。

今年、芸能活動44年を迎える俳優、タレントの風見しんごさん（63）。2007年1月17日朝、登校中だった長女えみるさん（当時10歳）は、自宅近くの横断歩道を渡っている時にトラックにはねられ、その短い生涯を閉じました。愛娘を失った後、風見さんは「交通事故に関して、自分だけは大丈夫」という思い込みはどうか捨ててほしい、と訴えます。現在は家族が暮らす米国・ロサンゼルスに生活の拠点を置き、芸能活動の傍ら、交通事故被害者遺族として講演などを通じて交通安全の啓発活動に取り組む風見さん。交通事故防止と被害者支援に求められることは――。風見さんが石橋健一会長と語り合いました。

## 痛みを抱える子どもたちへの支援に感謝

## 貴重な海外生活体験

## 自立心養う語学研修

石橋 もともと当会は交通事故死が急増した高度成長期、夫を失ったお母さん方から上がった「わが子をせめて高校には行かせたい」という声が発端でした。その声が社会を、国を動かして、1969（昭和44）年5月2日に設立され、これまで5万8千人を超える交通遺児に総額584億円の支援を行いました。今は全奨学生に奨学金の一部給付を実現したほか、学生寮の運営や家賃補助、運転免許取得費の補助、資格・検定試験補助など進学、自立を支える制度を拡充しています。支援策の多くは保護者、奨学生からの要望がきっかけになっています。

風見 僕は3年前から米国で暮らしていますが、（交通遺児育英会には）海外語学研修という制度があるとうかがいました。思えば子どもが育つ社会環境もずい分と様変わりして、僕が若い頃は海外へ行くとなったら親戚から餞別をもらうような時代です。今は若い世代が海外に出るのは珍しくない。語学研修は日本から外の世界へ目を向ける機会として素晴らしいですね。

石橋 3週間という短い期間ですが、保護者にお話をうかがうと、英語の勉強以上に自立心を養う場になっていると私たちも気付かされました。風見 英語の勉強は日本でもできますが、生活は暮らしてみないとわからない。僕も「米国へ行けば、そのうち慣れるだろう」と思っていたのですが、つくづく考えが甘かった。英語ができることと、海外で暮らすことは全く違いますから。単語や文法ではなく、肌で現地の生活を感じる、それができる語学研修制度はすごくいいですね。

石橋 帰国した高校生は「顔つきが変わった」と、お母さん方は声を揃えますね。空港へ出迎えに行っても、「我が子はどの子だったか？」となるそうです（笑）。風見 次女は渡米して10年ですが、「イエス」「ノー」をはっきりさせられるようになった。日本では曖昧な言い回しや謙遜は美德や長所だったりますが、米国では自分の考えをはっきり伝えたいと話が前に進みません。おっしゃる通り、子どもって短い期間でも海外に出れば顔つきは変わりますよ。僕は単に年をとっただけですが（笑）。

人を選ばない交通事故 私たちの意識変えよう 風見 僕は当時10歳だった長女を交通事故で亡くしました。それまで事故のニュースを見て「大変だ」という感覚はありましたが、自分が当事者になると大変どころじゃない。「本当に地獄だ」という思いしかありませんでした。事故を防ぐには、時間がかかっても私たちの意識を変えていくしかありません。僕自身、正直に言えば、「自分（の家族）に限って事故は起こらない」という意識がどこかにありました。そうした意識には何の根拠もないことを娘の事故で痛感したのです。勝手な思いなんですけど、もし僕の意識が違っていたら「娘は事故に遭わなかったんじゃないか」と、ひどく後悔もしました。

石橋 当事者の体験された悲しみ、苦しさは自ずと胸に響いて、聴く側に交通安全の意識を宿らせてくれるものだと思います。とても大切なお話を聞かせていただきました。風見 大げさなことは言えませんが、講演などでは一つだけお願いをしています。「自分だけは大丈夫」。そんな思い込みは捨ててください。交通事故は当事者を選んではくれません。普段、どれほど真面目に暮らしていようが、事故は人を選びません。万一、当事者になったら何をすればいいのかわからず、悲痛な気持ちだけが大きくなる。どこに相談すればいいのかなど、支援活動を含めて知っておいてほしいと思っています。

石橋 おっしゃる通りです。当会の存在を知らないために修学の機会を逃したりするものがないよう、私たちも2022年に広報課を設け、広報活動を強化しています。

ヤングケアラー対策急務 今後も多様な支援を継続 石橋 直近の課題としては、親の介護に追われている子ども、いわゆる「ヤングケアラー（YC）」の問題に力を入れています。元奨学生の女性に教えられて気付いたのですが、交通遺児家庭にこそ声を上げられないYCがいるのではないかと。アンケート調査や個別ヒアリングを通じて実態を把握した上で、専門家の助言も得ながら早急に支援策をまとめたいと考えています。

風見 YCは大きな社会問題だと思っています。僕の父親は60代前半でアルツハイマー型認知症と診断されたのですが、当時は介護保険制度（2000年度）が始まったばかりで、支援も手探りの中で、何をどうすればいいのかわからず、父に何をしたらいいのかわからず戸惑うばかりでした。その頃のことを思えば、親の介護に追われる子どもを周囲が支え、社会が助けるシステムはどうしても必要です。

石橋 子どもたちに話を聞くと、家庭で厳しい状況に置かれていても、あまりYCの意識がない子どもが目立ちます。親の介護は当たり前だと思っ

ていたりするんですね。でも実際は、学業に支障が出ているケースがあります。

風見 父や母が交通事故に遭えば事故後の対応から介護のことまで、法律などの専門分野もあり、本当に分からないことだらけだと思います。少子高齢化が進む中、状況を放置すれば、YCの問題は深刻化するばかりでしょう。

石橋 今後も子どもたちが置かれた状況を広く訴え、支援したいと考えています。あるお母さんが講演で話された「ハンドルの重みは命の重み」という言葉と同様に、風見さんの体験談は心に響きます。ご無理のない範囲で、ぜひ啓発活動をお続けください。

風見 ありがとうございます。私が訴えたいのは、やはり一つだけ。ハンドルを握る時、「自分は大丈夫」という意識を捨てていただくことです。最後に、貴会の支援活動に僕からも御礼を言わせてください。長女がなくなった時、次女は3歳でしたが、幼いなりに痛みを感じていました。全く関係ないのに「（姉が亡くなったのは）私のせい」と自分を責めていた時期がありました。子どもだからこその抱える痛みがあると痛感します。そんな子たちを支えてくださる取り組みに感謝します。今後もさらに活動の幅を広げていただきたいと思います。

胸に響く体験談が交通安全意識を宿らせる

人を選ばない交通事故 私たちの意識変えよう

風見 僕は当時10歳だった長女を交通事故で亡くしました。それまで事故のニュースを見て「大変だ」という感覚はありましたが、自分が当事者になると大変どころじゃない。「本当に地獄だ」という思いしかありませんでした。事故を防ぐには、時間がかかっても私たちの意識を変えていくしかありません。僕自身、正直に言えば、「自分（の家族）に限って事故は起こらない」という意識がどこかにありました。そうした意識には何の根拠もないことを娘の事故で痛感したのです。勝手な思いなんですけど、もし僕の意識が違っていたら「娘は事故に遭わなかったんじゃないか」と、ひどく後悔もしました。

石橋 当事者の体験された悲しみ、苦しさは自ずと胸に響いて、聴く側に交通安全の意識を宿らせてくれるものだと思います。とても大切なお話を聞かせていただきました。風見 大げさなことは言えませんが、講演などでは一つだけお願いをしています。「自分だけは大丈夫」。そんな思い込みは捨ててください。交通事故は当事者を選んではくれません。普段、どれほど真面目に暮らしていようが、事故は人を選びません。万一、当事者になったら何をすればいいのかわからず、父に何をしたらいいのかわからず戸惑うばかりでした。その頃のことを思えば、親の介護に追われる子どもを周囲が支え、社会が助けるシステムはどうしても必要です。

石橋 子どもたちに話を聞くと、家庭で厳しい状況に置かれていても、あまりYCの意識がない子どもが目立ちます。親の介護は当たり前だと思っ

ていたりするんですね。でも実際は、学業に支障が出ているケースがあります。

風見 父や母が交通事故に遭えば事故後の対応から介護のことまで、法律などの専門分野もあり、本当に分からないことだらけだと思います。少子高齢化が進む中、状況を



あしながおじさんの広場



お便り

ることを祈ります。

【埼玉県K・Sさん】

【11月】

【9月】  
交通違反をしてしまい、  
これからの安全運転の誓  
いとして寄付させていた  
できました。

【愛知県K・Nさん】

【埼玉県Y・Hさん】

力強く生きていくため  
の力になりますように。

【東京都T・Aさん】

【10月】

少しでもお役に立てれ  
ば嬉しいで。

【兵庫県H・Tさん】

【千葉県E・Mさん】

未来の足ししてくだ  
さい。

【埼玉県S・Hさん】

勉強は人生を裏切らな  
い。【東京都K・Mさん】

【東京都U・Nさん】

【東京都U・Nさん】

【東京都U・Nさん】

交通遺児の方の社会活  
動、生活維持にぜひお役  
立てください。

【東京都U・Nさん】

【東京都U・Nさん】

勉強頑張る。知識は  
あなたを裏切らないから  
(武器にもなるしね！)

【神奈川県S・Kさん】

【神奈川県S・Kさん】

【前号「君とつばさ」  
掲載の「村上敦基さんの  
文章に心をうたれました。  
苦難からの再生・前進の  
道をさらに大きく歩まれ

【大阪府T・Yさん】

【秋田県I・Hさん】

今後も活動を応援して  
おります。

セブン&アイ・ホールディングス様

「誠実な企業であることを経営理念とする流通グループ」

セブン&アイ・ホールディングス様は、セブン・イレブンなど、コンビニエンスストア事業を傘下に持つ会社で、環境問題や社会福祉などの社会貢献活動にも力を入れておられます。

セブンマイルは、お会計時に各店舗のアプリ内のバーコードを提示すると、200円(税抜)のご支援に感謝いたします

セブンマイルは、お会計時に各店舗のアプリ内のバーコードを提示すると、200円(税抜)のご支援に感謝いたします

ご支援に感謝いたします

育英会から

勉強、部活の足しにな  
れば……。少しでも、  
また続けよう。

【神奈川県U・Tさん】

交通事故で家族をしく  
された方のためにお使い  
ください。

【神奈川県U・Tさん】

【栃木県O・Yさん】

些少ですが、お役立て  
ください。

【神奈川県U・Tさん】

【神奈川県U・Tさん】

交通遺児の方をできる  
だけ応援したい。車検整  
備工場を運営しており、  
車検1台につき百円ずつ  
寄付することを続けてい  
きたいです。

【神奈川県U・Tさん】

交通遺児育英会の奨学  
生として、これまで温か  
いご支援をいただき、誠  
にありがとうございます。

【神奈川県H・Tさん】

【神奈川県H・Tさん】

【神奈川県H・Tさん】

後期高齢者になりました  
が、今年も寄付させて  
いただけるのが嬉しいで  
す。私も頑張りますので、  
皆さま勉強に励んでくだ  
さい。

【東京都F・Fさん】

【愛知県O・Nさん】

【東京都F・Fさん】

【愛知県O・Nさん】

【愛知県O・Nさん】

【東京都F・Fさん】

【愛知県O・Nさん】

【愛知県O・Nさん】

【愛知県O・Nさん】

教えて！交通事故Q&A

【公財】日弁連交通事故相談センター 19

Q

2022年11月に交通事故に遭いました。首と腰が痛くて、整形外科と整骨院に通院しました。23年5月まで、相手加入の保険会社から治療費を支払ってもらいましたが、支払いを打ち切れ、仕方なく自費で24年2月まで通院し、14級9号の後遺症が残り、治療を終えました。また、車を修理しましたが、その費用を支払ってもらっておらず、併せて請求したいです。事故から時間が経っていますが、まだ請求できますか。(京都府50歳・女性)

損害賠償請求すること  
ができる期間について

A

(相談のあった25年10月時点  
で)交通事故に遭った日  
から2年11カ月、治療  
終了から1年8カ月が経過  
しています。不法行為に  
よる損害賠償の請求権は、  
被害者又はその法定代理  
人が損害及び加害者を知  
った時から3年間行使し  
ないときは、時効によっ  
て消滅します(消滅時効  
11民法724条)。

けがをしたこと(人身  
損害)に対する損害賠償  
については、例外として、  
この3年間という期間が  
「5年間」に変更されて  
います(民法724条の2)。

「人の生命又は身体を  
害する不法行為による  
損害賠償請求権は、  
とくに被害者保護の必要  
性が高いため手厚く保護  
されているのです。」

交通事故損害賠償実務  
では、この「損害を知つ  
たとき」(いわゆる時効  
の起算点)を、後遺障害

の起算点)を、後遺障害

の起算点)を、後遺障害

の起算点)を、後遺障害

の起算点)を、後遺障害

の起算点)を、後遺障害

の起算点)を、後遺障害

の起算点)を、後遺障害

の起算点)を、後遺障害

の起算点)を、後遺障害

の起算点)を、後遺障害

日弁連交通事故相談センター無料相談ダイヤル

0120-0783-25

月～金(祝日除く)10時～19時(相談・通話無料、10分程度)

ホームページ <https://n-tacc.or.jp/>

交通遺児  
奨学生募集

ハンドルの重みは命の重み

高校・専修学校・各種学校  
大学・大学院

《保護者の重い  
後遺障害も対象です》

東京都と関西に大学生・専門学校生の学生寮あり

公益  
財団法人

交通遺児育英会

〒102-0093東京都千代田区平河町2-6-1平河町ビル3階  
☎ 03-3556-0773 ☎ 0120-521286  
<https://www.kotsuiji.com/>

